

セ タガヤ ボ ランティア ネ ットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2024.1 No.237

今月のトピック

●特集 P.2-5

『『公園』ってだれのもの？～いきいきとした社会は、
“近所の公園” から始まる！？～』開催レポート

●まちの市民力 P.6

ガーデンカフェときそら

●世田谷キラリ人 P.7

下川 七菜子さん

●イラストレーター 天の川こころ

福祉職の傍ら、趣味でイラストを描いていました。絵の中の日常は、私にとっての桃源郷です。

●わたしの世田谷

子どもの頃から「サザエさん」の大ファンで、桜新町の長谷川町子先生の美術館は度々見学に行きました。桜新町の街並みと町子先生の漫画は永遠に私の憧れです。



特集

「『公園』ってだれのもの?～いきいきとした社会は、 “近所の公園”から始まる!?!～」開催レポート



11月18日(土) 18:30~21:30(開場18:00)
@うめとびあ 実習室(世田谷区松原6-37-10)

参加費 一般/500円 このち会員/無料

marzoh@gmail.com
070-5554-8433 (世田谷会)
03-3327-7142 (ファミリーグループ)

嶋村 仁志さん
一般社団法人TOKYO PLAY 代表理事
稲垣 豊さん
世田谷区立保健医療福祉総合
公園管理施設公園管理事務所長



- 学習会の内容**
- ① 講演会
 - ② 「子どもの遊びは環境問題～子どもが
豊かに暮らすための緊急政策提言～」
嶋村 仁志さん
 - ③ 「公園管理の現場から考える
～公園ってだれのもの?」稲垣 豊さん
 - ④ グループワーク
 - ⑤ 参加者グループワーク
 - ⑥ グループワーク発表

近年、公園の価値は改めて重要さを増しています。子どもの多様で自由な「学び・育ちの場」として、高齢者やあらゆる世代の「憩いの場」として、生物多様性を担保すべき「準自然環境の場」としてなど、公園には多面的な目的が期待されています。

これらの目的を共存させるために、誰もが楽しみ活用できる「コモン」としての公園のあり方について市民・行政の立場から話を伺い、みんなで考える場が持たれました。

11月18日(土)の夜、うめとびあ(世田谷区立保健医療福祉総合プラザ)にて、同イベント『公園ってだれのもの?』が開催されました(主催:世田谷こどもいのちのネットワーク)。この日はゲストに、(一社)TOKYOPLAY代表理事の嶋村仁志さん、世田谷区砧公園管理事務所所長の稲垣豊さんをお招きし、それぞれからお話を伺った後、参加者がグループに

分かれてワークショップを行い、あるべき公園の姿について話し合いました。

TOKYOPLAY・嶋村仁志さんのお話

嶋村さんからは、「子どもの遊びは環境問題」子どもが豊かに育つ社会のための緊急政策提言」というテーマでお話をいただきました。

子どもの権利条約を起草した元国連事務総長のデクエヤル氏の言葉を引用し、「社会が子どもを扱う方法を見ればその社会の縮図が見えてくる」と言います。遊びはとても大事なことであり、子どもが遊ぶということが世の中に認められるには、プレーパークのような決まった遊び場だけが充実するだけでは足りません。昔の子どもたちは、まち全体が遊び場でした。遊びを通して、何をしていたのか悪いのか、社会性を学んでいたのです。

遊びの最大の効用は、「もっと遊びたくなること」。植物と同じように、子どもたちには自ら育っていく力があります。そのためには子どもの生活環境を整えること、つまり子どもが遊ぶことを支える社会（＝子どもが主体的に育つ根っこが張る土作り）を今の大人がどう作っていきけるかが重要な課題なのです。



嶋村さんの講演より
「遊ぶ」ことは子どもの「いのちのしくみ」

しかし、日本社会の現状はどうでしょうか。ユニセフの調査によると、日本の子どもは身体的幸福度では1位である一方で精神的幸福度では37位。また、子どもの自殺・いじめ・精神疾患も増えています。平日に遊ぶ日がゼロという子どもたちは約8割に及びます。自然の遊びスペースがなくなるなど、子どもが遊ぶ環境そのものも縮小しています。子育て世帯が占める割合が世帯全体の2割を切っている…など、日本の子どもたちは社会の中で、マイノリティの立場に置かれていることがわかります。

子どもの遊びは環境問題です。大人一人の努力や放っておいてどうにかなるものではありません。そのためには、遊ぶことの保障を社会のしくみにする必要があります。公園でよく見られる禁止看板は、市民からの苦情（問い合わせの9割は苦情だそう）を受けての状況です。不寛容な大人が増えて

いること、大人同士のコミュニケーション不全の現れでしょう。公園を遊べる場所にするには、こうした大人同士の貧困な関係をどう解消するかという課題もあります。大人同士が出会い直し、大人も子どもと一緒に遊ぶ、そうすれば子どもに寛容になる。大人が仲良くなると、子どもも親以外の大人と仲良くなり、大人がいなくても子ども同士で遊ぶようになる。看板を減らすのでなく、大人同士がつながることが大切なのではないでしょうか。

砧公園管理事務所長・稲垣豊さんのお話

稲垣さんからは、「公園管理の現場から考える」公園ってだれのもの」というテーマでのお話されました。世田谷区には現在625ヶ所もの公園があります。総数としては増えている一方で、子どもの遊び場は減っていると



ワークショップでの発表を受けての
稲垣さんからのコメント

の印象をもたれがちです。このギャップはどこから生じているのでしょうか。以下、公園管理の現場で思うことを問題提起していただきます。

1つ目は、公園は多目的に利用できるオープンスペースであることです。空きスペースを活用すべきとの声がありますが、いつでも誰でも多目的に利用できる空地として、意図的に空地を作っているそうです。多様な人が多目的に利

用できる公共施設ですが、市民と行政とで活用イメージにギャップがあるのが課題と言います。

2つ目は、公園には種別ごとに利用ルールを設定していることです。公園は都市公園法に基づく9つの種類があり、それらを組み合わせ、地域に設置され、種別に応じた利用（ルール）をお願いしています。また、公園内の施設も様々あります。区としては多様な種類の公園や施設で特色を出そうとしています。これらの種別が一般にわかりにくいのではないかと思います。

3つ目は、公園の利用促進と近接住民への配慮です。公園には、都市公園法により、禁止行為と制限行為（許可すれば可能な行為）があります。ボール遊びが危ない、子どもの声がうるさいなどの苦情は、近所の人が禁止すべきと思うかどうか大きいです。禁止看板は、やっている人へではなく、地域の人が困っているという

メッセージなのです。利用者と近隣の相互理解が深まるような使い方をどう広めるか。行政としても、どう子どもたちが遊んでいるか、普段の利用状況を知る必要があるのではないかと思います。

4つ目は、公園の自由度を高める参加・協働です。子どもたちが遊べる場にしたいという要望があっても、「公」の施設ということとで、誰でも使えるよう、特定の人による使いすぎを防がないといけない場面があります。より使いやすい公園にするには、利用者の多様なニーズを取り込むためにも、地域の方々への参加や関わりが大切と考えます。難しいのは、こうした事業はつながりをつくるのが目的なのですが、何を持って成功とするか数値では測れず行政内で説明が難しいことです。いずれにしても、多目的に利用できる空地である公園は、地域理解を得る参加・協働により自由度が高まると言えます。

質疑応答&ワークショップ発表

参加者から、「公園の木はどういう基準で剪定されているのか」という質問がありました。これに対し、稲垣さんからは、「雑然としているから切られてしまうという声があったのかもしれない。公園はきれいを求める声が多く、残してほしい木があれば希望を管理事務所に出すとよい」という回答がありました。加えて、嶋村さん



会場の様子、土曜の夜にもかかわらず多くの参加がありました

からは、「現状維持の多数の人の声は反映されにくいので、言った者勝ちになっている現状がある。そういう声を行政に入れていくことが必要ではないか」稲垣さんからも、「残してほしいという声ももらえると、管理事務所としても切つてほしいという声に対して事情を説明することができて助かる」との話がありました。

この後、グループに分かれ、これからの公園のあり方についてワークショップを行いました。ワークショップ後の全体共有では、「普段の遊びを知っていたら苦情の盾になれたかも」「いいことはなかなか伝わらない、いい声を行政に伝えていくことも重要」「すぐ行政に電話してしまう大人の意識を変えないといけない、まずは住民同士で受け止めるしくみがあってもよい」「自分たちで管理することの大切さ、言うからには責任を持てる市民を育てる必要がある」「遊びを知らない子ども

たちが親になると、遊びの環境が壊れていることに気づいてもらえない」といった意見が出されました。

まとめ

これらの発表を受けて、稲垣さんからは、「どういう使い方をしているか行政が把握することが第一歩、利用者の思いを語れるようにしたい」。嶋村さんからは、「よい関係で公園を利用するために、利用者同士お互いコミュニケーションしながら理解していく必要がある」とのお話がありました。公園はお金を払って消費者としてもてなされる場所ではありません。利用者として利用するばかりでなく、自ら関わることでよりよい公園作りに参加できるのであります。公園に対する考えを変えていく必要があるのかもしれない。

(取材／編集委員 市川徹)



～ゆったりと時間を味わう隠れ家カフェ～
ガーデンカフェときそら

まちの 市民力!!

取材・佐藤 研資

●
街の中で地域やそこで暮らす
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します



東急東横線・学芸大学駅から徒歩
約15分、野沢の閑静な住宅街
の白い一軒家にガーデンカフェ
「ときそら」があります（子ども
の自由な遊び場として有名な「の
ざわテットーひろば」に隣接）。

四季折々の花が美しい庭園を見
ながら、世田谷の野菜をふんだん
に使った料理や、自家製の飲み物
などを楽しむことができるこのカ
フェ、実は障害がある方の就労
訓練のための事業所で、世田谷
区内の「社会福祉法人はる」が
御縁のある方のお宅を活用して、
2020年秋に開設したもので
す。

「ときそら」という店名は、お
客様にゆったりと過ごしてもら

「とき」を提供したいという想
と、ジャックと豆の木の物語の中
で「そら」豆がぐんぐん「そら」
に向かって伸びていくように、働
いている自分たちも成長してい
きたいという想いから名付けられ
ています。

現在、20代から60代の方が利用
者として働いており、それぞれの
ペースで、厨房や接客・レジ、庭
園管理、イベント対応等の仕事に
取り組んでいます。

おだいらあきとし

スタッフの尾平明聡さんは、「と
きそら」の事業所としての特色に
ついて「比較的ゆつたりとした
ペースで仕事ができること、また
利用者さんの希望があれば、色々
な仕事を体験できることです」と

言います。

新しい事業所なので、「運営の
細部は模索中という部分もあり、
スタッフとしては大変な面もあり
ますが、その分、利用者さんに柔
軟に対応することが可能になっ
ていると思います」と尾平さんは言
います。

「ときそら」は駅から距離があ
ることから、店内の壁面をギャラ
リーにして有名アーティストの作
品展を開催したり、サロンコン
サート、落語会等のイベントを定
期的に行うなどして、お客様を増
やす努力を重ねています。

また庭園管理の技術を活かして
近隣のお宅の庭の手入れを行う仕
事などもしており、こうした活動
を通じて地域の方との関わりを更
に増やしていきたいとのこと。

慌ただしい日常を少し離れて静
かに心豊かな時間を過ごすことが
できる「ときそら」を、皆さんも
一度お訪ねになつてみてはいか
がでしょうか。

ガーデンカフェときそら（世田谷区野沢3-14-1）

ホームページ：https://www.tokisora.net/

通常営業：11:00～17:00 ラストオーダー 16:00（ドリンクは16:30）

定休日：月曜・日曜・祝日

※イベントがある日は予約制となり、通常営業はお休みです。ホームページでご確認ください。



世田谷区基本計画審議会の
区民委員を務めた

下川 七菜子さん
しもかわ ななこ

やが せた人 キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介します
取材●星野 弥生

昨年6月「次期世田谷区基本計画策定に向けたシンポジウム」世田谷の未来を語る」が開催されました。6人のパネリストはほとんどが専門分野をもつ大学の先生。その中に区民検討会議代表として登壇した30代前半の下川さんがありました。

区政にかかわるきっかけは、無作為抽出の区民検討会議のメンバーになったこと。選ばれた450名のうち43名が参加しました。「日程を見ると、全部行ける。無作為で当たり、奇跡的に日程も合う、これは運命かも」と三回の会議に参加する中から、「区政が身近に、自分ごとになりました」。

あったら解決するのが区政だ、と心が動いたのです」。

ワークシヨップの中で、年齢も住む地域もバラバラの区民たちがキャッチコピーを作り、世田谷の魅力を再発見していききました。検討委員の中から、基本計画審議会の区民委員を選ぶことになり、立候補した中から5人がくじで選ばれました。8回の審議会を通して下川さんは、サステナブルな食の未来、環境、多様性などについて主に発言してきました。「一区民として日々暮らす中から思っているリアルな声を発言すればいいのでは」と考え、6月のシンポジウムに区民検討会議代表となること

を引き受けたのです。「巻き込まれてよかったと思います。地域に暮らす人たちが当事者になって、お互いの距離感が縮まればいいですね」。

「食」の問題が一番の関心事である下川さんの本業はレストラン経営。植物性素材のビーガンの「3のレストラン」を20歳の時にお母さんと一緒に立ち上げました。誰もがなんでも食べられるわけではない、個々人の食の背景を気にすることなく食事を提供したいと考えてのことでした。Tに込められているのは、「太陽、地、丁寧、手間、テイスト、楽しむ、友達、そして宝もの」。

外国人が食を共にし、それが困りごとの解決につながることも。「ちよつとした対応で解決する。区政も同じですね」。区民と区政の距離が近くなることを願う下川さんは、何ごととも自分ごととして考える「パッション」でいっぱいです。

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、ご相談ください。

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組むボランティアを探索して紹介しています。現在は、オンラインでの学習支

電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。
●問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL 5712・5101

援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。
●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 原口
TEL 5712・5101
haraguchi@otagaisana.or.jp

ボランティア求む

小 麻雀ボランティア募集

「デイサービス「成城パティオ」では、通所の方々が食事後のレクリエーションの一つで麻雀を行っています。お若い頃から麻雀を嗜まれている方や、楽しみながら麻雀を学びたい方がいらつしやるので、皆様に麻雀を教えてください。または一緒に参加いただける方を募集しております。詳しくは直接施設へお問い合わせ下さい。
●日時／水曜日 午後（応相談）

東 小学生の宿題のフォローをしてくださる方を探しています

小学生の子どもたちと一緒に学校の宿題をしたり、遊んでくれるボランティアを募集しています。問題の答えが出なくてもOKです。一緒に日々のお話をしながら、その子のペースで頑張る子ども達の応援団になってくれる方、褒めて褒めて褒めまくってくれる方、一度だけでも遊びに来てくれたら嬉しいです。可愛い子ども達とお待ちしています。
●日時／毎週金曜日または水曜日

●場所／成城パティオ（世田谷区成城2・40・5・302）
●交通／成城学園前徒歩3分
●条件／交通費実費支給
●問合せ／株式会社メディア・クルー（デイサービス成城パティオ）担当 岩瀬
TEL 6423・0065
medicalcure1@gmail.com
https://medicalcure.com/

15時～17時
●場所／世田谷区上馬地区会館内会議室
●交通／駒沢大学駅下車徒歩5分
●条件／大学生。交通費支給一律680円
●問合せ／よりそい自習室オリーブルーム 担当 横川
090・58008・5078
olive.room.setagaya@gmail.com
https://instagram.com/setagayalive.com



梅丘の70代女性のお手伝いをしていただける方募集

梅丘1丁目にお住まいの方が、身の回りのお手伝いをしてくださる方を求めています。女性は脳性まひの障がいがあり、数年前のケガの影響もあり車いすを利用しています。普段はヘルパーさんの援助などを受けながら暮らしています。

内容は、簡単な掃除や時々手紙などの代筆。また、近くへ一緒に買い物へ行き帰宅後に果物のカットなどもしただけると有難いです。女性とお話を楽しみなが

●日時／月・金曜日、午前中の2〜3時間程度
●場所／梅丘1丁目のご自宅
●交通／梅ヶ丘駅
●条件／長期間活動が続けられる女性
●問合せ／北沢ボランティアビューロー
TEL 3420・2520
kibabora@otagaishama.or.jp



知的障害のある方が通所する施設までの付き添いボランティア募集

知的障害のある男性（40代）が通所する施設への往復に、一緒に付き添って歩いてくださる方を求めています。危険がないよう見守りながら付き合っていただけの方お待ちしています。

●日時／月・金 行きは自宅を朝8時半に出発し施設まで、帰りは施設を12時に出発し自宅まで（週に1回でも、片道のみでも結構です）

●場所／自宅（上祖師谷2丁目）

から鳥山福祉作業所（北鳥山1・29・15）までの往復
●交通／自宅から施設までは徒歩約30分
●条件／時給1000円、交通費別途支給。緊急介護人に登録していただきます
●問合せ／鳥山ボランティアビューロー
TEL 6909・0333
karasubora@otagaishama.or.jp



一緒に勉強してくれるボランティアを募集中

等々力にある児童福祉施設で小学生から高校生までの子どもたちに寄り添ってくれるお兄さん・お姉さんを募集しています。小学生には主に宿題の見守り、中高生とは話し相手としても関わっていただけたらうれしいです。学習支援の経験がなくてもまずは気軽にご連絡ください。

●日時／月・金曜日18時〜20時、週1回、1回1時間でも可
●場所／児童福祉施設内の学習室
●条件／学生。ボランティア保険加入（費用は事業所負担）
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tanabora@otagaishama.or.jp



自宅から学校の登下校に付き添ってくれるボランティア募集

世田谷区内在住の知的障がいのある女の子が、自宅最寄り駅（田園都市線の駅）から後楽園駅近くの学校までの登校または下校に付き添ってくださる方を必要としています。女の子は、高校3年生でおとなしい性格です。電車での移動には慣れており、乗り換える駅や路線などは理解しているのですが基本的には彼女が移動するのを側で見守っていただきます。週1回から可。詳しくはお問い合わせください。

●日時／（登校）月・木・金で自宅最寄り駅7時40分ごろ待ち合わせ、8時40分ごろ学校着。（下校）水曜16時30分に学校前にお迎え、17時30分ごろ自宅最寄り駅着
●場所／後楽園近くの学校と自宅最寄り駅の間
●条件／女性、交通費支給
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tanabora@otagaishama.or.jp

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

有償スタッフ募集

京 小1年生男子の 学校での見守り有償スタッフ募集

2024年4月に、新しく1年生になる男子児童の学校内での見守りや付き添いをしてくださる方を募集しています。校内では車いすを使用し、教室の移動支援やトイレの付き添い・安全管理・学習支援等が主な内容です。なお、世田谷区教育委員会の「学校生活サポーター制度」を利用するため、学校生活サポーターとして登録をしていただきます。

●日時／8時30分～15時10分の間

講座・その他・募集

Aーシステムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術・経験を生かしたい」「地域で活動したい」というボランティア活動をしたい方の経験や意欲などと、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAーシステムによるマッチングサイト（世田谷版GBER「ジーバー」）で結び付け、ボランティア活動を支援します。



詳細は左記二次元コードからご覧ください。

でご都合のいい時間（6時間以上の場合）は休憩有、月曜日、金曜日、土曜日があるときも有時間・曜日等は応相談
●場所／世田谷区立武蔵丘小学校
●交通／芦花公園駅徒歩15分
●条件／時給1170円、交通費別途支給（1日上限1000円）
●問合せ／鳥山ボランティアビュロー
TEL 609・0333
karasubora@otagaishama.or.jp

京 2023年度 防災シンポジウム 「在宅避難と遠隔避難」

世田谷ボランティア協会が主催する防災シンポジウム。今年度は、在宅避難と遠隔避難をテーマに震災時の避難と地域コミュニケーションについて、様々な角度から話し合います。予約制でひととき保育もあります。

●日時／1月13日（土）13時30分～15時30分※13時より受付開始
●会場／鳥山区民会館（世田谷区南鳥山6・2・19）

●交通／千歳鳥山駅下車徒歩1分
●参加費／無料
●定員／先着200名
●申込／せたがや災害ボランティアセンターHP内の専用フォーム、またはメールが電話にてお申し込みください。
●問合せ／せたがや災害ボランティアセンター
TEL 5712・5101
saigai-info@otagaishama.or.jp

小 防災士会の講座『いま起きている異常気象と災害』

NPO法人せたがや防災士会の防災講座、1月のテーマは異常気象と災害についてです。講師は（一社）日本気象予報士会の新海康雄さん（気象予報士）。ご予約なしで、どなたでもご参加いただけますので直接会場までお越し下さい（50名様まで）
※オンラインZoomでも参加していただけます。Zoomでの希望の方は事前にメールアドレスをご登録ください。

●日時／1月28日（日）14時～16時※13時45分より受付開始
●会場／成城ホール4階集会室D（世田谷区成城6・2・1）
●交通／成城学園前駅徒歩5分
●参加費／無料
●定員／先着200名
●申込／<https://gd/otpg>
●問合せ／NPO法人せたがや防災士会 担当 高橋
info@seta-bou.org
<https://seta-bou.org/>

東 災害ボランティアコーナー養成講座（基礎編） @日本体育大学

2023年度5回目となる「災害ボランティアコーナー養成講座基礎編」を日本体育大学にて開催します！内容は講義・模擬訓練、世田谷区の災害対策、災害ボランティアの活動内容（世田谷方式）等を学びます。

●日時／1月27日（土）13時30分～16時30分※13時より受付開始
●会場／日本体育大学 世田谷キャンパス
（世田谷区深沢7-1-1）

小 多言語広場CELULAS主催「ワークショップ」 「世界に通じる力を育てる」

多様性への対応力・グローバルコミュニケーション力・自分で考え見つけ実行する力「多言語とこれらの力を育てることがどうつながるか」をワークを通して体感してみませんか？きつと子育て・自分育ての参考になると思います。

●日時／
①1月29日（月）9時45分～11時45分
②2月1日（木）9時45分～11時45分
●会場／

●交通／桜新町駅より徒歩15分、またはバス5分「日本体育大学前」で下車

●参加費／無料

●申込／せたがや災害ボランティアセンターHP内の専用フォーム、またはメールが電話にてお申し込みください。

●問合せ／せたがや災害ボランティアセンター
TEL 5712・5101
saigai-info@otagaisama.or.jp

①桜丘区民センター別館桜丘ホール
②成城ホール4階集会室A・B
③交通／

●小田急線「千歳船橋駅」徒歩3分

②成城学園前駅徒歩4分

●参加費／無料

●申込／ホームページから

●問合せ／NPO法人多言語広場セルラス
tagengo.celulas@gmail.com
http://celulas.or.jp/

東 玉川ビューローバザー開催&バザーボランティア募集

玉川ボランティアビューローでは、恒例のバザーを開催します。収益はボランティア活動推進費として大切にに使わせていただき、「おたがいさま」で結ばれた地域づくりに役立てます皆さまのお越しをお待ちしております！また、バザー提供品およびバザーボランティアも募集中です！

●日時／2月17日（土）10時半～14時
●場所／玉川ボランティアビューロー（世田谷区玉川2-1-15）
※駐車場はありません
●交通／二子玉川駅徒歩5分

※提供品受付／1月20日（土）～1月27日（土）10時～16時（日曜除く）

新品または新品同様の婦人服、子ども服、バッグ、アクセサリ、靴、贈答品、食器、雑貨のご提供をお待ちしております。紳士服・

おもちゃ・書籍など受付できないものもありますので、詳しくはお問い合わせください。

●ボランティア募集／

①値付け…

1月26日（金）13時～15時

30日（火）10時～12時

2月1日（木）13時～15時

2日（金）10時～12時

7日（水）13時～15時

②会場設営…

2月13日（火）10時半～12時半

③バザー当日の販売・片付け等…

2月17日（土）10時～15時

●問合せ／玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

tamabot@otagaisama.or.jp

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 北沢ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 烏山ボランティアビューロー 〒157-0065 上祖師谷1-11-14 TEL (6909)0333 FAX (6909)0355
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●日ごろの備えが災害時の力になる●

- せたがや災害ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障害にともなう「困った!」を話せる場所●

- 地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405
- スペースココカラ。(ぽーとせたがや・パートナーセンター) 〒154-0002 太子堂4-26-9 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

1月13日(土) 烏山地区会館にて、「2023年度防災シンポジウム『在宅避難と遠隔避難』」を開催します。震災時の避難と地域コミュニティについて、様々な角度から話し合います。詳しくはP.10をご覧ください。

◆ふらっと& withより

新年がスタートしました。ケアセンターふらっとも、新しいメンバーが増え、気持ちも新たに、そして変わらず、生命(いのち)を大切に紡いでいきたいと思う新春です

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

明けましておめでとうございます。今年も引き続き、電話をかけてきてくれた子どもの力を信じて、大切に話を聴いていきます。

編集後記

■明けましておめでとうございます。2024年もどうぞよろしくお願いいたします!

■特集ページを読んで感じたのは、いつ頃からか、身近にある小さな公園がいつの間にか駐車場になっていたり、遊具が撤去されていたり、サッカーや野球禁止の看板が取り付けられていたりし始めました。「子どもは風の子」というフレーズは今の時代には合わないのでしょうか。私がまだ子どもの頃は、公園でもっと自由にのびのびと遊んでいたような気がします。(近藤)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03・5712・5101
FAX 03・3410・3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

